

市債について

平成十三年度は、臨時財政対策債を新たに発行したことなどから、前年度比9・2%増の八百五十五億円となりました。しかし、その分を除くと3・4%減の七百五十五億円になりました。

市債残高は、近年の経済対策や減税補てん債の発行などにより大幅な伸びを続けていました。このため、行財政改革推進計画に基づき市債発行額の抑制に努めています。

平成十三年度末の一般会計

の市債残高は一兆九百三十五億円（満期一括償還準備積立金を除く）と一兆三百四十四億円となり、前年度比4・9%の増となりました。（図3、

用語解説

〈臨時財政対策債〉

地方交付税の財源となる国税（所得税、法人税など）が伸び悩んでいることから、それを補てんするために各自治体が発行する地方債。償還財源については、将来、交付税措置される。

〈満期一括償還準備積立金〉

満期時に発生する多額の償還（返済）に備え、計画的に減債基金に積み立てたお金。

財政指標で見る札幌市の財政の特徴

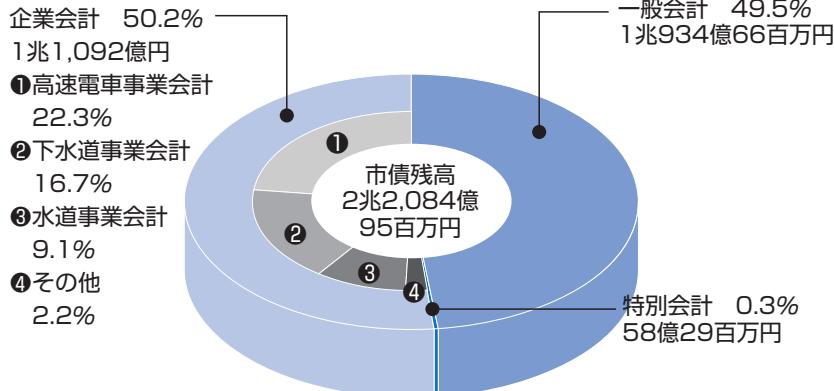
特徴① 財政力指数

市税など自ら貢える財源の割合が低く、財政基盤が弱いといえます。

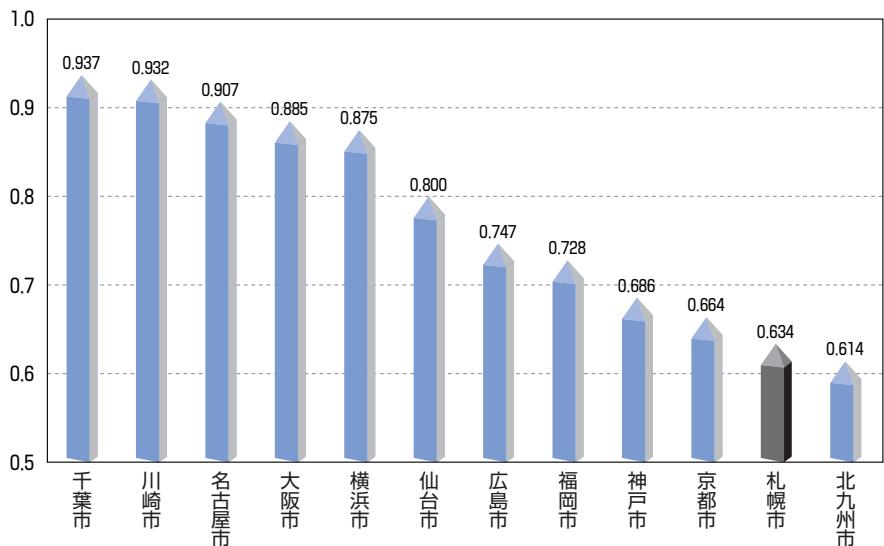
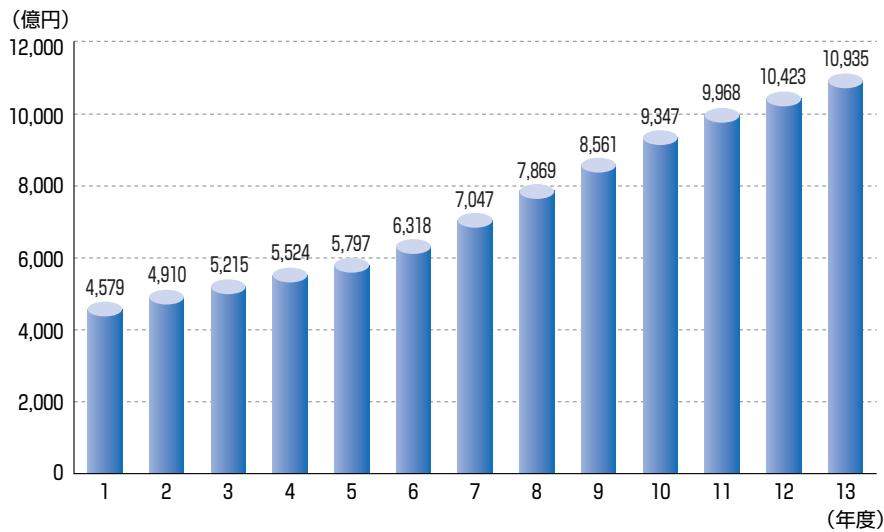
この指標が小さいほど、財政基盤が弱いといえます。本市は政令指定都市の中で低い方から二番目です。

■図5 財政力指数

■図3 市債残高の状況



■図4 一般会計市債残高の推移



【財政力指数】標準的な行政を行うために、地方公共団体自らが貢える財源の割合を表したもの。